

根津神社のつつじ祭りと谷根千散歩

リーダー：村上有三（東京）

期日：2013年4月24日（水） 日帰り

参加者：18名

参加費：1,000円

（ガイド料・保険料・連絡経費・資料代など）

自費：現地までの往復交通費、入園料

コース：根津駅（集合スタート）弥生町界限（旧サトーハチロー記念館）→ おばけ階段 → 根津教会 → 根津神社・神社とつつじ祭りの散策 → 夏目漱石（猫の家）→ 藪下通り → 団子坂 → 森鷗外記念館（観潮楼跡）→ 須藤公園 → 三崎坂 → 大円寺 → 全生庵 → 岡倉天心公園 → 夕焼けだんだん → 谷中銀座商店街（自由散策）→ 日暮里駅（解散） 3時間半の行程でした。

今回は、下町散歩の定番となった谷根千散歩ということで参加者が多く、2組に分かれての散歩となりました。予報では午後から雨が降るとのことで心配しましたが、集合時間のころはまだ雨は降ってなくて、これからの天気を気にしながらのスタートとなりました。結局、弱い雨が降ることがありましたが、散歩には支障なく、根津神社のつつじ、文豪の散歩道・千駄木、そして谷中銀座商店街のぶらぶら歩きを楽しみ、テレビや雑誌で良く紹介される谷根千の魅力を改めて確認し、堪能できました。

根津神社

毎年4月中旬より5月上旬までつつじ祭りが開催されています。境内には約50種類、3,000本もつつじが植えられていて、種類により咲く時期が違うので開催期間も長く、その分楽しめます。

ただ、ここ数年温暖化で咲く時期が早まっていて、5月に入ると見ごろを過ぎる状況が続いていましたが、今年は冬が長かったため、ちょうど一番の見ごろでした。また、雨模様の天気が一層つつじを美しく華やかにしていたと思います。根津神社は都心に



根津神社のつつじはまさに見頃

ありながら、権現作りの社殿を中心に広い境内で、参加の皆さんから、秋ころにまた来てみたいとの声がありました。

千駄木 文豪の地

森鷗外、夏目漱石など明治の文豪のゆかりの地・千駄木は、今でも明治・大正のころの雰囲気が残っていて、知的好奇心をくすぐる場所です。特に森鷗外記念館は、鷗外の生誕120年の昨年リニューアルされました。千駄木は鷗外がその半生を過ごした地で、記念館はかつての旧居観潮楼の跡地で、明治25年から大正11年に亡くなるまで住んでいました。門柱の跡や鷗外が座った石があり、当時を偲ぶことができました。

夕焼けだんだんと谷中銀座

夕焼けだんだんと名付けられた坂は、谷中銀座から日暮里へ行く道にある階段状の坂で、ここから夕焼けを見る絶景スポットにもなっています。この近くには富士山が見える名所もあります。だんだんの下が、下町散歩でマスコミに何度も登場している谷中銀座で、左右に名物店が並んでいます。

日曜日などは観光客が多くて歩くのも大変ですが、当日はゆっくりとぶらぶら散歩できました。谷中名物の谷中メンチは、いまでは数軒で売られているが、ほぼ中央にある「すずき肉店」のメンチは絶品で、皆さん競って買い求め、その場で立ち食いを楽しんで



名物の熱々メンチカツでご満悦

していました。また、谷中銀座の先「よみせ通り」には、10円まんじゅうの店や、美味しいと評判のアップルパイの専門店などもあり、お土産に購入する方も多かったようです。

今回は、途中で小雨もありましたが、ほとんど気になるほどの降りでもなく、皆さん楽しまれたことと思います。谷根千の魅力の一つは、多くの史跡に加え、下町ならではの街並みと風情が続き、適度の上り下りもあって、のんびり散策するには格好の街です。今回参加できなかった皆さん、お仲間と下町探訪にお出かけになってはどうですか。